

「自立 友愛 希望」



こんにちは、

西宮市立深津小学校長、谷本眞一でございます。どうぞ、よろしく願いたします。

本校は、標題の「自立・友愛・希望」を校訓とし、昭和58年に創立した学校です。写

真の石碑の文字は、初代校長高岡 大(ひろし)先生直筆によるもので、創立の精

神、建学の理念が込められています。

私は、この建学の精神を教育活動を通して体現し、職員とともに一丸となって子ども

の心に刻み込んでいきたいと考えています。

自立 「私は 私を創っていく 責任者」(東井義雄先生の言葉)

「自分のことは自分です」子どもの育成をめざしています。今、自分はどうすればよいか、どのような態度をとればよいか**考えて行動できる子どもの育成**をめざして教育活動を展開します。そして、自分は自分の主人公、世界でただ一人の自分をつくっていく責任者であるという自覚を養います。

友愛 「一人はみんなのために みんなは一人のために」

友達同士、深津っ子同士手をつないで仲良くなることをめざしています。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」考えたり行動できたりできる子どもの育成をめざしています。その根底には**思いやりの心**を持った子どもになるよう育てていこうというみんなの思いが込められています。

希望 「過去を変えることはできないが、未来を変えることはできる」

「自分はこういう人になりたい。こんなことをしてみたい」という目標が持てることをめざしています。過去や現状を憂えて将来に悲観せず、未来への希望が抱ける子どもの育成をめざしています。「希望を抱けば徹底的に努力して、より良い未来に変える。夢をかなえるために**粘り強く続ける**」という精神を養います。

「燃えて とことん かかわって 心を入れて

そして、変えて 如何とかせん」

校訓の理念は、学校教育目標やめざす児童像にちりばめられています。私は、その理念に込められた願いを子どもたちに分かる平易な言葉で語りかけたり、日々の教育活動を通して体験的に感じ取らせたりしながら、子どもたちの心に精神として宿していきたいと考えています。

私たち教職員は、その決意として「燃えてとことんかかわって心を入れてそして、変えて」という言葉を職員室の前に掲げ、これを合い言葉としています。子どもを変える前にまず、子どもの声や保護者の思いに耳を傾け、自分自身が変わることから出発して、子どもの変革に迫ります。そして、子どもによく分かり感動のある授業が提供できるように教育内容を創造し、教師は「授業で勝負する」ことを誓い合っています。

保護者や地域の皆様のお力をお借りながら、学校・家庭・地域が一体となって、校訓を活かした信頼される学校づくりに努めてまいりますので、皆様のご協力とご理解をよろしくお願いいたします。

校長 谷本眞一